

**龍谷大学生協 深草キャンパス
 共済ボード**

第363号



取り組み概要

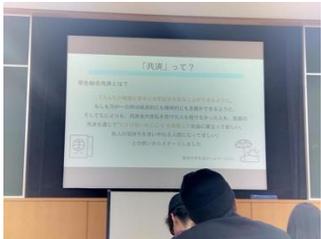
日時：共済部会 11月1日(金)18:45~
 ボード作成 11月15日(金)18:45~
 参加者数や組合員の反応：多くの学生委員が作成に携わり、共済を知り、考えるきっかけとなっていた。

背景や概要：「みんなの共済2024」の持ち帰り学習会を部会で行い、共済活動を頑張りたい、組合員に共済をより身近に感じて欲しいという思いから2つの班に分かれて作成。

学びを活かして共済活動へつなげる

POINT.1

「共済」って何だろう？



10月に開催された「みんなの共済2024」への参加をきっかけに、部会で共済学習会を実施しました。セミナーに参加できなかった学生委員にも共済を理解してもらうために、職員と話し合ってセミナーの提起資料をもとに、より簡単に確実に押さえて欲しい内容を伝えました。実際の共済パンフレットを見て保障内容を確認し、共済を自分の言葉で説明しました。大学生活に潜むリスクに対応した内容になっていることを実感できていました。

また、説明後は共済を推進していくための方法や企画を4本柱に沿って考えました。様々な角度から組合員の健康・安全を守るアイデアを出し、組合員の現状や理想の姿から、実際の企画のイメージを膨らませていました。他大学の学生委員も見学に訪れ、それぞれの活動の紹介もしていました。

POINT.2

共済ボードをつくろう！

別日の部会で共済部会での学びの振り返りをした後、2つの班に分かれて共済ボードを作成しました。他会員の共済ボードを参考にし、組合員に何を伝えたいか、どうしたら目に留まるデザインになるか話し合い、内容を考えるグループとデザインを考えるグループに分かれて作業しました。10月の給付状況と、12月の掲載に合わせて、ウィンタースポーツ時のケガや路面凍結時の転倒、感染症などの注意喚起をコラムとして掲載しました。学生総合共済のキャラクターである「タヌロー」を組合員にも知って欲しいという思いから、ボードのデザインに取り入れました。



POINT.3

共済活動の一步目として



「みんなの共済2024」への参加をきっかけに、共済活動を頑張っていきたいという思いから作成しました。現執行代になってはじめての共済活動として、4本柱の「報告」にあたる共済ボードの作成に取り組みました。龍谷大学生協では、共済担当の職員が毎月「共済たより」という給付状況の報告ポスターを作成して生協店舗に掲示しています。今回、学生委員会が共済ボードを作成することで、学生目線で実際の学生の生活に則した内容を掲載することができました。



ご質問や[K's NEWS]で紹介したい活動があれば、ご連絡ください！
 ブロック学生事務局 [前田 里桜]
 Maeda.Rio@univ.coop